

令和6年度  
自己評価結果

中城ひらやすこども園

【1. 教育・保育理念】 未来をつむぐ教育・保育～子どもの今と未来のしあわせのために～

子どもの権利条約×人格主義の基本理念

子どもが自分らしく生きる力を育てるよう、子どもの権利条約を遵守し人間の内面にある誠実、忍耐、勤勉、誠意、勇気そして、良心を育てる最善の教育・保育をしてまいります。

【2. 教育目標】

- ① 自然を愛する優しい子ども…慈しみの心を育みます
- ② 情緒が豊かで明るい子ども…自己肯定感を高めます
- ③ よく考え、進んで行動する子ども…自立心・自律心を養います
- ④ 仲良く遊び、協力し合う子ども…共同性を培います
- ⑤ よく見、よく聴き、知的好奇心のある子ども…地頭力を伸ばします
- ⑥ 身体が丈夫で逞しい子ども…強い精神力を鍛えます

【3. 教育方針】

- 1 子どもの権利を尊重し、子どもに寄り添う教育・保育
- 2 心身の調和のとれた人間形成を目指す豊かな教育・保育

4. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画

- 「生きる力」の土台を育むための保育の充実
- 職員研修の充実

5. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	備考
(1) 建学の精神や教育、保育理念に基づいた園の運営状況	A	
(2) 園の状況を踏まえた教育目標等の設定状況	B	
(3) 園の教育課程の編成・実施の考え方についての教職員間の共通理解の状況	B	
(4) 学校行事の管理・実施体制の状況	A	
(5) 年間の指導計画や週案などの作成の状況	A	
(6) 遊具・用具の活用	B	
(7) チーム保育などにおける教員間の協力的な指導の状況	A	
(8) 乳幼児に適した環境に整備されているかなど、クラス経営の状況	A	
(9) 幼保連携型認定こども園教育要領の内容に沿った幼児の発達に即した 指導の状況 ・環境を通して行う教育の実施の状況 ・園児との信頼関係の構築の状況 ・園児の主体的な活動の尊重 ・遊びを通しての総合的な指導の状況 ・一人一人の発達の特性に応じた指導の状況	B A B B A	

(10) 日常の健康観察や、疾病予防のための取組、健康診断の実施の状況	A	
(11) 事故等の緊急事態発生時の対応の状況	A	
(12) 法定の学校安全計画や学校防災計画等の作成・実施の状況	A	
(13) 危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	B	
(14) 安全点検や、教職員の安全対応能力の向上を図るための取組の状況	A	
(15) 個別の指導計画の作成の状況	A	
(16) 家庭との連携状況	A	
(17) 園長など管理職の教育目標等の達成に向けたリーダーシップの状況、また、多くの教職員からの信頼の状況	A	
(18) 校務分掌や主任制等が適切に機能するなど、園の明確な運営・責任体制の整備の状況	A	
(19) 各種文書や個人情報等の学校が保有する情報の管理の状況、また、教職員への情報の取り扱い方針の周知の状況	A	
(20) 学校保健法、労働基準法等の各種法令の遵守状況	A	
(21) 保育研究の継続的実施など、指導改善の取組の状況	B	
(22) 園内における研修の実施体制の状況	B	
(23) 園内研修の課題の設定の状況	B	
(24) 園内研修・園外研修の実施・参加状況	A	
(25) 指導が不適切である教員の状況の把握と対応の状況	A	
(26) 教育目標の設定と自己評価の実施状況 ・園児や園の実態、保護者の意見要望等を踏まえた園としての目標等の設定の状況 ・目標等を踏まえた自己評価の項目の設定状況 ・自己評価が年に1回以上定期的に実施されているかなどの実施状況 ・自己評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況 ・全職員が評価に関与しているかなどの体制の状況 ・自己評価の結果の設置者への報告と状況	A A A A A	
(27) 園に対する保護者の意見・要望等の状況 ・保護者の満足度の把握の状況 ・教育相談体制の整備状況、保護者の意見や要望の把握・対応状況	A B	
(28) 園に関する様々な情報の提供状況	A	
(29) 園公開の実施の状況	A	
(30) 園児の個人情報の保護の状況	A	
(31) 学校評価結果の公表状況	A	
(32) 園便りやクラス便りの発行など、主として保護者を対象とした情報の提供状況	A	
(33) 情報提供手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫の状況	A	

(34) 保護者の実情や要望による園の子育て支援活動の実施状況	B	
(35) 園や教職員による受け入れ体制の状況	A	
(36) 園の目的、教育課程との関連、園児の負担、家庭との連携等への配慮	A	
(37) 施設設備 ・施設設備の活用状況 ・設置者と連携した施設・設備の安全・維持管理のための整備の状況 ・設置者と連携した園教育の情報化の状況	B A A	
(38) 遊具・用具・図書等 ・設置者と連携した遊具・用具・図書等の整備状況	A	

## 6. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画の考察

結果	理由
B	<p>1. 「生きる力」の土台を育むための保育の充実</p> <p>子ども達が健康に生活できるよう、発達段階に応じた基本的生活習慣の確立を目指し、日々の保育の中で睡眠・食事の大切さを伝え、トイレトレーニング・手洗い・うがい・身のまわりを清潔にする等「生活力」を育んでいった。その結果、前年度に比べ排泄面での自立が感じられ、また健康面、衛生面でも元気に気持ちよく生活を送るための基礎作りができたと思う。また、子ども達が遊びの中で様々なことに触れることが出来るよう、遊具や環境を整備し、興味や関心を持って取り組めるよう努めた。室内ではコーナー遊びを積極的に取り入れ、子ども達が主体的に遊べるような内容を設定することでお友達とルールを守って仲良く遊んだり、楽しさや達成感を味わうことで次の活動もやり遂げようとする等、人ととの触れ合いの中でよりよい人間関係を気づくことが出来たと感じる。今後も、子ども達の意欲を大切にし、遊びや生活の中での人との関わりや体験を通して、「生活力」や「社会性」を育んでいけるよう努めていきたい。</p> <p>2. 園内研修の充実</p> <p>園の状況を踏まえて研修内容を設定し、定期的に園内研修の場を設けるように努めた。園内研修では、日々の保育を振り返ったり、職員同士意見を出し合ったりしながら、より良い保育が提供できるようみんなで考えることが出来た。園内研修に慣れない職員もいたが、研修担当の先生が園外で学んだことを報告したり、事前に調べた事を共有することで全職員の良い学びに繋げることが出来た。今後は実践を多く取り入れた研修を設定出来たらと思う。</p>

## 7. 総合的な評価結果

- ・開園して2年目ということで、前年度の反省点を踏まえて保育を行った。日々の保育では、年齢に合わせた保育内容を意識することで、各学年の良さを活かすことができた。また、主体的に遊べるようなコーナー遊びや自然に触れる取り組みを増やすことで、子ども達にとって良い経験をとなり充実した園生活が送れたように感じた。行事に関しては、職員で検討を重ね改善したこと多く、園児や保護者が無理なく共に楽しむことができたと思う。職員間でも話し合いの場を設け、子ども達にとってベストな取り組みが出来た。
- ・子ども達が毎日健康に過ごせるよう、基本的生活習慣の確立を目指し、家庭との連携を心がけた。保護者の努力もあり、自分でトイレに行けたり、自分で着脱や好き嫌いなく食事ができるようになったりと、一人ひとりの成長を感じ、子ども達も自信につながったように思う。

- ・今年度は、職員研修を充実させるために、積極的に園外研修への参加と、園外研修を定期的に進めるよう努めた。初年度に比べると、研修受講者も増え、園外研修での学びを園内研修へ活かし、実践や意見交換、情報共有の場ができ、保育の質向上につなげることができたと思う。

### 8. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
体育遊びの充実	体育遊びを通して、体のバランス感覚や筋力・体力の向上につなげ、健康に生活できるように努める。
動植物に触れ合う取り組み	相手を思いやる気持ちや、お友達同士協力して一つのことをやり遂げる経験等を通して、社会性や生きる力、協働性を育む。
職員研修の充実	研修に積極的に参加し、そこで学びを全職員で共有し、より良い保育が行えるように努める。

### ◎「4.5」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である